

## 柴桂子さん

## 「江戸期おんな

## 表現者事典」発行

—江戸の女12,000人の文芸活動に光をあてる—

「学園花の村」の会員で、「倉馬の里」の前里長である柴桂子さんがかねてより待望しておりました本を発行します。

発行予定日 平成27年2月10日、現代書館刊、定価 26,000円＋税

封建時代の江戸期は身分制のもと、女性は忍従を強いられ、その文芸活動は低調であったとのイメージをもたれておりますが柴さんが30余年をかけて全国各地の資料の発掘をおこないました。

その結果、意外にも江戸期の女性は旅日記や句会等を通して自分の思いを生き生きと表現していたということがわかりました。また江戸

時代は女性の一人旅ができるほど治安がよくて平和な社会でもあったということや女性たちが自立して生きたと言うことも知ることができました。

今盛んに女性の社会進出が叫ばれておりますが、平和が続くことが前提であります。

この本は高価ですが、図書館・博物館・資料館や高校・大学等にご紹介をお願いし新しい視点で江戸期の女性の活動を捉え直していただき、今後女性が活躍できる社会作りの一助になればと期待しております。

ご注文・お問い合わせは下記にお願いいたします。

(株) 現代書館

Tel 03-3221-1321

Fax 03-3262-5906

(藤本記)

## 遠州大東方言カルタ

## 発売される

掛川市南部の大東地区の「おたいらの会」のおばあさん達がこのほど「遠州大東方言カルタ」を発売した。おたいらの会は、掛川方言番付に触発され、私たちの町の名が消えてしまいう前に、方言を遺そうと、遠州・



大東方言の本を三冊セットで平成一四年頃発売し、その後方言カルタ作りに取りかかっていた。かるたづくりに松井も多少のお手伝いをさせていただいた。価格を安く上げるために、おたいらの会の注文に上乘せして作り、松井プリントでも売出す事にした。

あんもーをのんばめちやつてあわくつた(お餅を喉に支えてあわてた)と川柳で方言をユーモアに、また絵もそれなりにおもしろく、楽しいものになった。大東地区の会員宅にポスターが貼ってある家で販売している、是非共お買い求めをおねがいしたい

大東方言には山言葉と浜言葉とあり、山言葉は掛川の田舎にちかく、浜言葉は大須賀や御前崎とも近い。掛川弁との違いは、「らっかい」

(乱暴な) とじゃんけん。

男衆のじゃんけんは「わいとーえす」と言い、女衆は「ちんりっさい」と言い男と女と違って不思議なじゃんけんがある。

ごもんどりとはあんこ入りの餅、ちなみにあんもーとはあんこ入り餅ではなく、ただのお餅である。勘違いされている方も居るようなので念のため……地元では子供達に郷土愛を育んでいただければと期待している。

一セット1800円